

年 組 名前：



笛子追分人形
新演目披露へ

大月市笹子町に伝わる県無形民俗文化財の人形浄瑠璃「笹子追分人形」の保存会は、郡内地域を拠点とした武田二十四将の小山田信茂らが喜場する新演目「甲斐源氏信重忠臣譚」の練習に取り組んでいる。人形芝居の公演活動が復活した2004年以降で、新たに作った演目に臨むのは初めて。メンバーは、地元を舞台にした演目には力が入る」と張り切っている。19日に市内で開く公演で初披露する。武田寛明

大月の保存会 19日に公演

地元舞台 信茂ら登場

笛子追分形は、浄瑠璃に合わせた人形を頭で演じる芝居。1体の人形を顔と右手を担当する「主遣い」「それ以外を担う」「右遣い」「左遣い」の3人で動かす。

た後の時期が舞台。主君である勝頼を真切つとされる信茂が、岩城の芝居の中では最後まで勝頼に逃がそうとした「忠臣」として描かれている。信茂と勝頼のほか、勝頼

新たな演目は、武田勝頼や小山田の妻の北条夫人、きょうだいの松姫信茂らが長篠の戦いで織田軍に敗れらるゝ体の人形が登場。現在上演して

いる演目の中で最も多いという。保存会は地域を舞台にした演目をつくろうと、5年前から信茂を主人公とする演目の台本や、信茂の人物の頭部の制作などを進めていた。今年6月には人形の動きの練習を始めた。

小山田信茂の人形（中央）を操る練習をする笛子
追分人形保存会のメンバー＝大月市笛子町黒野田

信茂の人形の「主遣い」を担当する小野昭仁さん(64)は「芝居での信茂は」忠義の心を持ち、勝頼や領民のことを考えていた武将として登場する。『悪者』ではない姿を表現したい」と話している。



赤池 悠、森 航平
高橋 咲良(富士北麓)
武田 寛明(大月・上野
原) 森 航平(都留)

(2025 年 10 月 11 日付 山梨日日新聞 17 面)

問1 にんぎょうじゅうり人形浄瑠璃ささごおいわけにんぎょう「笹子追分人形」の保存会が、練習ほぞんかいに取り組んでいる「甲斐源氏れんしゅう 信とく 誓かい 忠臣譚げんじまことのほまれちゅうしんたん」の登場人物とうじょうじんぶつを答えてください。こた

..... の

問2 ささごおいわけにんぎょう たい なんにん あやつ
 箆子追分人形1体は、何人で操りますか。

問3 10月19日の公演で上演した場面を、二つ答えてください。